

《中部遠野》大豆の収量向上を目指して ～遠野市内大豆組織等ほ場巡回を開催しました～

遠野地域では、7月31日、大豆の大規模生産に取り組む7法人等を対象に、収量向上に向けた技術研鑽として、生育状況や栽培管理について情報交換を行う「遠野市内大豆組織等ほ場巡回」を開催しました。

巡回の結果、今年大豆は、ほ場準備や播種作業が適期に実施され、生育初期も好天に恵まれたことから、概ね順調に生育している状況を確認できました。

特に、湿害対策としての「溝切り」や、連作障害対策としての「前年の水張り」といった技術対策を徹底したほ場では、極めて良好な生育状況となっていることが確認されました。

技術対策の効果を実際に確認したことで、これまで取り組んでいなかった法人等においても、導入の意向を示すなど、有意義な巡回となりました。

普及センターでは、遠野地域大豆の収量向上に向けて、引き続き、大豆生産法人等の技術研鑽などの取組を支援していきます。



ほ場管理者による大豆の
栽培管理の説明



技術対策の徹底により
良好な生育状況